



2018-19年度  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン

# Weekly Report Niigata



2018～19 年度  
新潟ロータリークラブ会長  
若槻 良宏



国際ロータリー  
2018-19 年度テーマ

インスピレーションになろう

新潟 RC 1 月第 3 例会 (2019.1.22) No.3266

## (1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

## (2) 若槻 良宏会長挨拶

皆様、改めまして明けましておめでとうございます。本日は、会員のご家族の皆様、米山奨学生のチャギーさん、交換留学生のレインさんをお迎えし、恒例の新年家族例会を開催できることを大変嬉しく思います。

さて、本日の新年家族例会は、平成最後の新年家族例会になります。本年は、天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位が行われ、平成の時代が幕を閉じます。一世一元制のもと、新たな元号が制定されます。1番目の元号は孝徳天皇が定めた「大化」でした。歴史上有名な「大化の改新」の時代です。大化の改新は、天皇中心の中央集権国家建設を目標とする改革であり、大化の改新によって独自の年号を打ち立てた日本は、独立国として、以来1400年近く、途切れることなく、継続国家として現在に至ります。新たな元号は「大化」から数えて248番目の元号になるとのことです。あらためて私たちの国の悠久の歴史を感じます。

歴史家のギボンズは、その名著「ローマ帝国衰亡史」の中で、滅び行くローマの史実を検討したうえで、精神文化の重要性を論じ、富や軍事力など形のある物質だけではだめで、精神文化無き民族は衰亡すると結論付けています。

日本が継続国家を全うできているのは、精神文化を大切にしてきたからだと言えそうです。日本人は、古より自然と調和し、自然に感謝し、畏怖畏敬の念をもって生活してきました。八百万の神というように、万物全てに神を見出し、神に恥じぬ存在であるよう、精神を高め、自らの心と向き合っ

てきました。自然との調和から、自然の小さな移り変わりに心動かされ、趣を感じる鋭い感覚が養われました。この感覚が、詫び寂びの文化を生み、日本のモノづくりの技術を生んだといわれています。また、多くの美しい日本語も生まれました。

歴史を大局的に見たとき、精神文化の承継というのはとても重要であると考えます。先週、ロータリークラブの例会前に、日本の伝統文化の一つである、餅つきを行いました。小さいころの餅つきの記憶がよみがえり、とても懐かしかったです。と同時に、自分の子どもたちには、餅つきの経験をさせたことがないことに気づきました。伝統や文化、ひいては、日本人の精神文化の承継がされていないわけではないと思いますが、身近を見ても、先細っているのは正しい感覚ではないかと思えます。だからこそ、意識的に取り組む必要があるのかもしれませんが、ロータリークラブもしかり、先輩のロータリアンから、後輩のロータリアンに対して、新潟ロータリークラブの精神、伝統を承継していく必要があります。

このあとの新年会では、新潟の伝統文化の象徴でもある、古町芸妓による新春の舞、飛龍会による獅子舞、大黒舞などが予定されています。4歳の娘が泣き出してしまうのではないかと少し心配しておりますが、ご容赦ください。

本日は新年家族例会です。自分が今あるのは、先祖や家族のおかげであることに感謝しつつ、また、個人的には、私の入会以来、初めて例会に参加してくれた妻や子どもたちに感謝しつつ、皆様と楽しいひと時を過ごしたいと思えます。

本日はどうぞよろしく申し上げます。

**(3) ゲストの紹介 ご家族 10 名 留学生 2 名**

秋山忍さん、内田千翔さん、坂井文子さん、佐藤裕理さん  
坂本典子さん、竹石宏子さん、徳永茂子さん、若槻真利子  
さん、若槻結斗さん、若槻眞子さん、米山奨学生、交換学  
生



ミャンマー壮行会

**(4) 1月22日例会の出席率 61.63%**

会員数 93名 (出席免除会員 9名)

出席者 53名 (出席免除会員 3名を含む)

(2週間前メーク後 87.50%)



古町芸妓

**2月5日の例会予定**

第一例会につき卓話の予定はございません

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigataarc.jp/>

**新年家族会懇親会**

於 鍋茶屋

司会 親睦委員会

新年家族会開宴挨拶 岡村親睦委員長

乾杯 徳永 昭輝直前会長

古町芸妓 新春の舞

獅子舞・大黒舞 飛龍会(15分)

お祝い贈呈 年男 還暦 古稀 喜寿 長寿

成人家族

閉会挨拶 山田 隆一 次期会長

手に手つないで合唱



飛龍会